

令和6年度 東谷口小学校 学校経営ビジョン

加賀市 学校教育ビジョン

BE THE PLAYER

自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える

1. 学校経営理念

グローバル化や情報化、技術革新が急速に進み、一層予測困難なこれからの社会。社会の在り方も大きく変化している。これからの時代を生き抜くためには、自分で考え、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協力して課題を解決していく「たくましさ」が求められる。そこで、子どもたちが夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生き抜く力を育成するために、家庭や地域と連携・協力して教育活動を推進する。

まずは、子ども達の「今」が充実していること、自分で考え、仲間と学び合うことで、学ぶ楽しさや喜びを実感することが原動力となる。子ども達の「今」も「未来」も幸せにするという使命感をもち、「今」つけるべき力を確実に育てていかなければならない。土台となる子ども達一人ひとりの違いを認め合い互いに安心して学べる学級、思いやりのあふれる温かな学校づくりを通して推進していく。

2. 学校教育目標

これからの時代を生き抜く、たくましい東谷口っ子の育成
～子ども「今」も「未来」も幸せに～

(1) 校訓

「至誠 剛健 篤実」

(2) めざす児童像

- ・ 「考える子」 (自らよく考え、主体的に行動できる子)
- ・ 「思いやりのある子」 (自他を尊重し、思いやりの心をもち、助け合える子)
- ・ 「元気な子」 (心身ともにたくましく、気持ちの良いあいさつができる子)

(3) めざす教師像

- ・ 教育に対する誇りや使命感を持ち、学び続ける教師
- ・ 児童のよさを認め、可能性を引き出し、力を伸ばす教師
- ・ 教育目標の達成に向かって組織的に協働する教師

(4) めざす学校像

「子どもが主役の“挑戦”と“思いやり”にあふれる学校」

- ・ 児童も教師も学ぶ楽しさ、喜びを感じる学校
- ・ 笑顔と思いやりの言葉であふれる学校
- ・ 保護者・地域から信頼される安心安全の学校

3. 指導の重点

(1) 育成したい資質・能力を明確にし、確実に力がつく授業づくり

「主体的な学びを通して 個の確かな力に」

- ・児童が主体者となり、確実に力(教科として、自立した学び手として)を身につける授業をめざす。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- ・個に応じた適切な支援を行いながら、自信と意欲を高める。
- ・家庭学習を充実させ、自ら学ぶ力の向上を図る。

(2) 安心・安全な学校・学級風土の醸成

「認め合う、関わり合う力の向上」

- ・生徒指導の4つの視点を生かした教育活動・授業づくりを通し、自己肯定感や自己存在感を育む。
- ・自他を尊重し、思いやりの心で人と関わり合うことができる児童の育成を図る。
- ・児童主体の行事や特別活動等を通し、主体性・協働性、学級集団力を育む。

(3) 心身ともにたくましい子の育成

「自己管理能力の育成」

- ・危険を察知し、自分の命は自分で守ろうとする「危機回避能力」の育成を図る。
- ・運動の楽しさが実感できる体育の授業や、児童が主体的に取り組む体育的活動を通し、体力の向上を図る。
- ・自らメディアコントロールを行い、健全な生活を送ろうとする児童の育成を図る。
- ・気持ちのいいあいさつのできる児童を育む。

4. 教職員の活力向上

- ・学校運営への参画意識を持って校務分掌を遂行し、組織的な教育活動を推進する。
- ・コミュニケーションを密にし、お互いを高め合い、協働する教師集団をめざす。
- ・校内研修の充実と校外研修の積極的参加により自己研鑽に励み、指導力の向上をめざす。
- ・業務の効率化により、子どもと向き合う時間のゆとりや授業づくりの時間を創出し、ワークライフバランスを実践する。

5. 家庭や地域との連携

- ・コミュニティスクールを推進し、地域との連携・協働を図る。
- ・学校からの情報発信、双方向の情報交換を進め、家庭とともに児童の育成を図る。
- ・地域人材、地域教材を活用した授業づくりを通して、郷土愛を育む。

6. 危機管理・危機対応の徹底

- ・危機管理体制を整え、予防を含めた取組、適切な対処により安心安全な学校づくりをめざす。
- ・「報告・連絡・相談」を徹底し、諸課題に迅速かつ組織的に対応する。